

## 令和2年度 岩手県石油コンビナート等防災計画に基づく防災訓練の実施

令和2年度の岩手県石油コンビナート等総合防災訓練が新型コロナウイルスの影響により来年度以降へ延期となったことを受け、11月11日（水）久慈事業所に於いて岩手県石油コンビナート等防災計画に基づき、規模を縮小して久慈消防本部殿と合同による防災訓練を実施しました。

訓練は『排ガス処理設備運転中に震度5強の地震が発生し、地震鎮静後の一時点検を実施していた運転員がLPG配管フランジ部からのガス漏れを発見。運転員が近付いた際に滞留していたガスへ静電により引火、引火時の爆風により運転員が負傷。また、ガス引火時の爆風により破損したLPGボンベ置き場の外壁一部がA重油サービスドラムに衝突し、亀裂が発生し漏洩・引火。』という複合火災想定を行い、関係機関への通報、負傷者救出・搬送、防消火活動、漏洩防止措置（土嚢構築、ガードベースン放流停止等）等、一連の防災対応を行いました。

訓練には、久慈広域連合消防本部、ユーアイ警備保障、JOGMEC久慈国家石油備蓄基地事務所及び当社久慈事業所の総勢55名と車両5台が参加し、新たに導入したクロスファイアーをはじめとする資機材を使用する等、実戦に即した緊迫感のある訓練が実現出来ました。



合同指揮所設置



LPG火災対応



クロスファイアーによる放水



事務指揮所情報収集



土嚢構築



消防本部との連携